

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

大腿骨近位部骨折後におけるデノスマブ継続率

2. 研究責任者(当院)

所属：薬剤科

氏名：鈴木 諒

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：

代表名：

3. 分担研究者

所属：薬剤科¹⁾、整形外科²⁾

氏名：岸田俊二²⁾、高山陽太¹⁾、戸巻祥枝¹⁾、原田萌衣¹⁾、須川悠花¹⁾、富田歩子¹⁾

4. 研究対象者

当院にて大腿骨近位部骨折後よりデノスマブを開始し、骨粗鬆症地域連携外来にて 2 年以上経過観察できた患者。

5. 研究の必要性

大腿骨近位部骨折は高齢患者が多く、様々な事情により通院が困難となる患者が多い。一方で骨粗鬆症治療は再骨折の予防に対して必要不可欠である。デノスマブは循環型のパスにおいては有用な薬剤であるため、どのような患者で継続出来ず、どのような患者で継続出来たのか知ることが薬剤選択等において重要な情報となるため、調査したい。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

個人が特定されない情報で研究を行うため、個人に対する影響はないと考えている。治療脱落に関連する因子が特定できれば、よりよい骨粗鬆症治療の提案に繋がると考える。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：4161

担当者氏名：鈴木 諒

対応時間：平日 8:30-17:00

共同研究において専用窓口がある場合

なし